

新規登録・更新登録時の申請書  
第一面～第三面

R4.10.1現

第五号書式(第二十条関係)(A4)

(正)	副	一級 二級 木造	建築士事務所登録申請書 (第一面)	※手数料欄
-----	---	----------------	----------------------	-------

正・副 2部作成のうえ、○印をつけ

〔記入注意〕

- ※印欄は、記入しないでください。
- のある欄は、該当する□の中にレ印を付けてください。
- 現登録年月日及び登録番号の欄は、更新の登録を受けようとする場合に記入してください。

別紙の貼り付け欄に手数料の払込金受領証(振込明細票)を貼り付けます。

申請書の提出日を記入

一級  
二級 建築士事務所の登録を申請します。この申請書及び添付書類の記載事項は事実と  
木造 相違ありません。

令和〇〇年 〇月 〇日

〇〇建設株式会社  
登録申請者氏名 代表取締役 山口 太郎

指定事務所登録機関  
一般社団法人山口県建築士事務所協会 会長 様

法人：法人名・開設者の役名・開設者名を記入する  
個人：開設者氏名を記入する  
※ 副本は適正に作成された正本のコピー可

建 事 務 所	ふりがな 名 称	〇〇けんせつかぶしがいいしや いっきゅうけんちくしむじよ 〇〇建設株式会社 一級建築士事務所		
	所 在 地	(〒〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇市〇〇町〇番〇号 電話□□□-□□□-□□□□ FAX△△△△-△△△△-△△△△		
	一級建築士事務所、 二級建築士事務所又は 木造建築士事務所の別	一級建築士事務所 <input checked="" type="checkbox"/>	二級建築士事務所 <input type="checkbox"/>	木造建築士事務所 <input type="checkbox"/>

登 録 申 請 者	あ る と き 個 人 で	ふりがな 氏 名	建 築 士 の 資 格	一級建築士 <input type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士 <input type="checkbox"/> な し <input type="checkbox"/>
	あ る と き 法 人 で	ふりがな 名 称	〇〇けんせつかぶしがいいしや 〇〇建設株式会社	
		住 所		
		事務所 所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号	

個人記入欄

法人記入欄

名称・所在地は、定款及び登記事項証明書のとおり記入する。

建 務 理 所 寸 築 士 を る 事 管 建	ふりがな 氏 名	やまぐち じろう 山口 次郎	登 録 番 号	第〇〇〇〇号
	一級建築士、二級建築士 又は木造建築士の別	一級建築士 <input checked="" type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士 <input type="checkbox"/>	登録を受けた都道府県名(二級建築士又は木造建築士の場合)	
	管理建築士講習を 修了した年月日	平成 令和 〇年〇〇月〇〇日	修 了 証 番 号	第00000-000000号

一級建築士は記入不要

法定(大臣登録)の「管理建築士講習修了証」に記載されている修了年月日及び修了番号を記入し、「管理建築士講習修了証の写し」を添付する。  
※ 知事指定研修や法定の所属建築士の定期講習は不可

現登録年月日 及び登録番号	平成・令和 〇〇年〇〇月〇〇日 山口県知事登録(A)第 0000 号	※ 審 査
規 新 新 更 □ □ □	※ 登録年月日 及び登録番号 令和 年 月 日 山口県知事登録( )第 号	

更新時のみ記入

該当項目を選択

この欄は記入しない

(第二面)

所属建築士名簿

〔記入注意〕

全ての所属建築士についてこの書類に記入しきれない場合は、備考の「有」の□の中にレを付けたうえで、この書類に記入しきれない部分を別紙に記入して添えてください。

ふりがな 氏名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	登録番号	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあっては、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号
やまぐち たろう 山口 太郎	一級	12345		構造設計 一級建築士	1111
やまぐち じろう 山口 次郎	二級	22222	山口県		
やまぐち はなこ 山口 花子	二級	33333	広島県		
<b>二級・木造建築士のみ記入</b> ※登録を受けた都道府県であつて 本籍地の記入ではありません。					
<b>(注意)</b> 直近の建築士定期講習修了証の写しを添付してください。 業務を行う所属建築士は、全員記入する必要があります。					
(備考) 別紙 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			計	一級建築士 二級建築士 木造建築士 構造設計一級建築士 設備設計一級建築士	1 名 2 名 名 1 名 名

(第三面)

役員名簿

〔記入注意〕

- 1 この書類は、申請者が法人である場合にのみ提出してください。
- 2 全ての役員についてこの書類に記入しきれない場合は、備考の「有」の口の中に入れてください、この書類に記入しきれない部分を別紙に記入して添えてください。

ふりがな 氏名	性別	役名	氏名・役名は、定款及び 登記事項証明書のとおり記入する。	年	月	日
やまぐち たろう 山口 太郎	男・女	代表取締役	明治・大正 昭和・平成	〇〇	〇	〇
やまぐち じろう 山口 次郎	男・女	取締役	明治・大正 昭和・平成	〇〇	〇	〇
やまぐち さぶろう 山口 三郎	男・女	取締役	明治・大正 昭和・平成	〇〇	〇	〇
たかすぎ 〇〇 高杉 〇〇	男・女	取締役	明治・大正 昭和・平成	〇〇	〇	〇
くさか 〇〇 久坂 〇〇	男・女	取締役	明治・大正 昭和・平成	〇〇	〇	〇
よしだ 〇〇 吉田 〇〇	男・女	取締役	明治・大正 昭和・平成	〇〇	〇	〇
いゆえ 〇〇 入江 〇〇	男・女	取締役	明治・大正 昭和・平成	〇〇	〇	〇
すぎ 〇〇 杉 〇〇	男・女	取締役	明治・大正 昭和・平成	〇〇	〇	〇
	男・女		明治・大正 昭和・平成			

(注意)  
役員は、全員記入する必要があります。  
なお、ここでいう役員とは、業務を執行する社員、取締役、執行役及びこれらに準ずる者をいい、社外取締役、代理権を有する支配人、理事等を含む、  
監査役、取締役でない支店長等は含みません。

女		昭和・平成			
男・女		明治・大正 昭和・平成		年	月 日
男・女		明治・大正 昭和・平成		年	月 日

(備考)

別紙 有   
無

この様式に役員を書ききれない場合は、「有」に  
チェックし、書ききれない役員を別紙に記入してく

## 払込金受領書貼付欄

新規登録・更新登録時に必要

(一社)山口県建築士事務所協会指定の銀行  
(山口銀行・ゆうちょ銀行)にお振込後、  
振込金受領証又は振込証明書を貼付

山口銀行／県庁内支店  
普通口座 6171898  
口座名義人 一般社団法人山口県建築士事務所協会

ゆうちょ銀行  
口座記号番号 01300-9-87439  
加入者名 一般社団法人山口県建築士事務所協会

振込用紙は  
(一財)山口県建築住宅センター各事務所に備え付けの用紙を  
使用するか各銀行の用紙を使用してください。

※登録手数料  
一級建築士事務所……¥17,000  
二級・木造建築士事務所……¥12,000  
振込手数料は各自ご負担下さい。



**新規登録・更新登録・管理建築士の変更・法人の開設者氏名変更時に添付**

添付書類(口)

**略 歴 書**

( 登録申請者  / 管理建築士  )

[記入注意]

- 1 職歴の欄は、最近のものから順次記入してください。
- 2 勤務先の欄は、自家営業の場合には自営と記入してください。

※登録申請者 ≠ 管理建築士の場合  
各々の略歴書が必要  
※登録申請者 = 管理建築士の場合  
矢印の両項目にチェックを入れる

氏 名		山口 太郎		生年月日	昭和〇〇年〇月〇日
建築士の資格		一級建築士 <input checked="" type="checkbox"/>	登録番号	第〇〇〇〇号	
		二級建築士 <input type="checkbox"/>		登録を受けた都道府県名(二級建築士又は木造建築士の場合)	
		木造建築士 <input type="checkbox"/>			
		なし <input type="checkbox"/>			
学 歴	年 月 日	学 校 名 及 び 学 科 名		卒 業 ・ 修 了 ・ 中 退 の 別	
	昭和〇〇年〇月	〇〇工業大学〇〇学科		卒 業	
職 歴	期 間	勤 務 先		地 位 ・ 職 名	
	年月 ~ 年月				
	平成〇年〇月 ~ 現在	〇〇建設株式会社		代表取締役	
	昭和〇〇年〇月 ~ 平成〇年〇月	株式会社〇〇設計		設計部部长	
昭和〇〇年〇月 ~ 昭和〇年〇月	〇〇事務所 / 〇〇会社		所員 / 社員		
<p><b>最終学歴から現在までの職歴を新しいものから記入する どこにも勤務していない時期は、自営、無職等と記入する。</b></p>					

一級建築士は記入不要

学科まで記入する

新規登録・更新登録・法人の開設者氏名・役員の変更時に添付

添付書類(ハ)

誓約書 → 登録申請者の誓約書

登録申請者(営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者でその法定代理人(法定代理人が法人である場合においては、その役員を含む。)及び登録申請者が法人である場合における当該法人の役員を含む。)が下記のいずれにも該当しないことを誓約します。

令和〇〇年〇月〇日

〇〇建設株式会社  
代表取締役 山口 太郎

登録申請者の氏名又は名称

新規登録・更新登録は  
申請書提出日と同一日

指定事務所登録機関  
一般社団法人 山口県建築士事務所協会 会長

法人 : 法人の名称、代表者の役名及び代表者名を記入

個人 : 開設者氏名を記入

共通 : 副本は適正に作成された正本のコピー可

- 1 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 2 禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わってから5年を経過しない者
- 3 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者
- 4 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消され、その取消の日から起算して5年を経過しない者
- 5 建築士法第26条第1項又は第2項の規定により建築士事務所について登録を取り消され、その取消の日から起算して5年を経過しない者(当該登録を取り消された者が法人である場合においては、その取消の原因となつた事実があつた日以前1年以内にその法人の役員であつた者でその取消の日から起算して5年を経過しないもの)
- 6 建築士法第26条第2項の規定により建築士事務所が閉鎖の命令を受け、その閉鎖の期間が経過しない者(当該命令を受けた者が法人である場合においては、当該命令の原因となつた事実があつた日以前1年以内にその法人の役員であつた者でその閉鎖の期間が経過しないもの)
- 7 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員又は同号に規定する暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者(9において「暴力団員等」という。)
- 8 精神の機能の障害により建築士事務所の業務を適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- 9 暴力団員等がその事業活動を支配する者
- 10 建築士事務所について建築士法第24条第1項及び第2項に規定する要件を欠く者
- 11 禁錮以上の刑に処せられた者(2に該当する者を除く。)
- 12 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられた者(3に該当する者を除く。)

[記入注意] 1 登録申請者が法人である場合には、法人の代表者の氏名を併せて記載してください。

2 2から9まで、11又は12のいずれかに該当するときは、該当事項を抹消し、かつ、上欄にその事実をできるだけ詳細に記入してください。

新規登録・更新登録・管理建築士変更時に必要

# 誓約書

管理建築士の誓約書

(建築士事務所名)

〇〇建設株式会社一級建築士事務所

---

私は、この建築士事務所の管理建築士として、専任することを誓約いたします。

令和〇〇年 〇月 〇日

申請書提出日と同一日にする

(管理建築士名)

山口 次郎

---

指定事務所登録機関

一般社団法人 山口県建築士事務所協会 会長 様



## 〇〇株式会社定款

### 第1章 総則

第1条 (商号)  
当社は〇〇株式会社と称する

### 第2条 (目的)

1. 建築の設計及び工事監理

2. 〇〇〇〇

・

・

・

10. 〇〇〇〇〇

・

・

・

※新規登録時及び2回目以降の更新時には記載のうえ申請する

※工事管理は不可

### 第〇章 計算

第〇条 当社の営業年度は年1回とし、〇月〇日～〇月〇日までとする

・

・

・

・

・

※定款最後のページの余白部分に、現行の定款に相違ない旨の証明を明記してください

現行の定款に相違ないことを誓約する。

令和〇〇年 〇 月 〇 日

〇〇建設株式会社

代表取締役 山口 太郎